



ごあいさつ

学長 山根 洋右

21世紀の社会は、知識が重要な社会基盤であり高い価値をもつ「知社会」であります。学生の皆様のひとり一人の知識、技能、価値観、そして、**“いかに生きるべきか”**という哲学と人間力を、自律的に主体的に身につけることが問われる時代でもあります。

高知女子大学は、「生活科学部」、「文化学部」、「看護学部」、「社会福祉学部」の4学部と「看護学研究科」、「人間生活学研究科」、「健康生活科学研究科」の3研究科からなる大学院を擁し、「21世紀知識基盤社会」のニーズに対応して、各学部と大学院が密接な連携を取りながら、質の高い包括的で先駆的な高等教育を提供しています。この様な教職員の努力は、公立大学の中で文部科学省科学研究補

助金の高い獲得率として表れています。また、全国の国・公立大学志願者数比較でも、本学が国立大学を抜き、毎年トップクラスに入っているのも受験生の皆さんの評価の結果と考えています。

高知女子大学は、昭和24年に平和と文化の発展を支える女性の育成を掲げて誕生し、60年の伝統を築いています。今日まで数少ない「女性の高等教育拠点」として、輝かしい足跡を残し、多くの優れた人材を輩出し、社会の発展と男女共同参画社会の実現に貢献してきました。本学では、高度専門職として多様な資格を取得し、社会へ羽ばたく体制が整えられています。例えば、本学の看護学部は我が国で最初の4年制の看護師養成を始めた大学として有名です。卒業生の方々が、国際看護師協会や日本看護協会の会長として卓抜したリーダーシップを発揮しています。

高知女子大学は、高知県の「知の拠点」として、教育、研究、社会・国際貢献という3つの領域の活動を大切にし、「学生」「教員」「職員」「市民」が4輪駆動の車輪の様に、協力・協働して「県民の誇りとなる大学づくり」に向けて地道な成果を挙げています。学生の皆さんは、自由で明るいキャンパスライフを楽しむとともに、地域社会の中に飛び出し、実習、フィールド調査研究、ボランティア活動、

サークル活動など地域の方々の暖かいご支援とご理解に包まれながら多くの貴重な経験をつんでいるのも他大学にみられない特色です。高知県は、明治維新前後から今日の日本の礎を築いた優れた先覚者、政治家、文人を数多く輩出し、全県が歴史博物館という恵まれた文化環境にあります。また、四万十川流域、足摺岬、桂浜、室戸岬など全国屈指の自然豊かな景観も満喫できます。ドイツの古い言葉に、「良き人々との出会いは、人生の華」という素敵な言葉があります。高知女子大学の教職員、在学生一同、あなたを心から歓迎し、素晴らしい出会いを待っています。

